

森の大切さ次代につなぐ

山陰両県44の森林保全団体からなる「森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議」がこの春、設立5周年を迎える。1月23日には記念事業「森林保全シンポジウム 未来・いま・伝える」を松江市学園南1丁目のくにびきメッセで開き、両県民に森づくりの大切さをアピールした。当日行われたパネルディスカッションやNPO法人・富良野自然塾によるビジットプログラム(訪問授業)の様相を紹介する。

「森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議」5周年事業 「森林保全シンポジウム 未来・いま・伝える」

パネルディスカッション詳細

学校や授業に自然体験の場を

「森林に触れたことのない人が増えている。森の大切さをどう伝えるか。」

清水 まず自然に身をまかせ、風潮を取りまわらないといけな...
斎藤 自然に連れ出されてくた...
中野 多くの人は自然保護につ...
植田 木を切ることは悪いと思...
和野 山に行かない。授業に組...
清水 昔はいろいろと、じいさん...
中野 基本は地域コミュニティ...
斎藤 江戸時代は狭い国土で資...
植田 プレパークなどの体験を...
和野 一本の木にたつた葉の面...
清水 の懐でぬくもりを感じた...
植田 山陰ネットワーク会議の活動は...
和野 基本は地域コミュニティ...
斎藤 江戸時代は狭い国土で資...
植田 プレパークなどの体験を...
和野 一本の木にたつた葉の面...
清水 の懐でぬくもりを感じた...



森の大切さをどう伝えるかを議論するパネリストたち

パネリスト
清水 国明氏 自然暮らしの会代表
斎藤 典世氏 NPO法人「富良野自然塾」フィールドディレクター
中野 ゆかり氏 おんな山師集団代表
和野 譲二氏 認定NPO法人「緑と水の連絡会議」事務局長
植田 優子氏 「島根・木育ネットワーク」会員
コーディネーター 山下晃功・島根大学教授

「森林に触れたことのない人が増えている。森の大切さをどう伝えるか。」

「低炭素社会の実現、バイオマス活用などの課題を分りやすく伝えるにはどうすればよいか。」

「地球上で生命がいつ誕生したかを予想してください。」

「地球上で生命がいつ誕生したかを予想してください。」

組む両県のボランティア団体やNPO法人など18団体で2006年4月に発足。結成を呼び掛けた山陰合同銀行が事務局を務め、情報交換やイベントを通して活動の輪を広げている。加盟団体は昨年12月末現在で44団体。

鳥取県内の主な活動団体

【NPO法人・賀露おやじの会】
(藤田充理事長、鳥取市賀露町南5丁目、スタッフ数15人)

間伐材活用し山を再生

賀露小学校の保護者の父親たちが子供会活動として年数回、子どもを集めて科学実験教室を開いてきたのが始まり。子離れとともに、豊じょうの海を取り戻すための森林保全に活動の中心が移った。



シンポジウム参加者に組手仕の組み立て方を説明する藤田理事長(右)

【大山横手道上ブナを育成する会】
(森安保会長、米子市富益町、スタッフ数153人)

豊かな大山復活へ植林

大山の荒れた山林に在来種の本ナを植林し、豊かな水源や土壌を育む大山の復活を目指している。大山中腹には、いたるところにスギやヒノキの人工林がある。経済効果を期待し、戦後に本ナやミズナラを伐採して植林されたものだが、木材市況の低迷から人の手が入らず、山は荒れ放題になっている。



大山の中腹で本ナを植林する会員たち

富良野自然塾 山陰初の訪問授業

未来予想し生活見直しを

ロープ使い地球の歴史解説

「地球上で生命がいつ誕生したかを予想してください。」
「北海道の森でフィールドを使った環境教育プログラムを運営するNPO法人・富良野自然塾が同日、森林保全シンポジウムで山陰初の訪問授業を行った。」
インストラクターの小川喜...
「地球の歴史」の授業には、松江市内の中学生ら約30人が受講。フロアに長さ46分のロープを敷き、ロープ1本を1億年と仮定して46億年の地球の歴史を解説した。
小川さんはロープをたどりながら「誕生したばかりの地球は、ドドロロに溶けたマagmaの海。40億年前には地球が冷めて海が干上がり、海の中で生命が誕生した」と解説。
地球全体が氷に閉ざされた全地球凍結時代、火山活動によって平均気温が50度もあった6億年前、急速な酸素の低下で生物の95%が死滅した2億5千万年前など、苛酷な自然環境の変化を経て、20万年前に人類の祖先のホモサピエンスが誕生するまでを説明した。
小川さんは最後に「人類の歴史はロープ上ではわずか2分の長さ。人類が誕生できたのは、長い時間をかけて生きる環境が近づくからで、これは奇跡に近い。ところが、人類は生命維持に必要な空気や水、土を汚し、生命環境を危うくしている。自分たちにどんな未来が来るかを予想し、今の生活を直してほしい」と訴えた。中学生たちは地球の長い歴史から見た人類の存在期間の短さ、現在の生活環境の危うさに驚いた様子だった。



環境問題と一緒に考える小学生の皆さん

私たちは、環境問題を子どもたちに分かりやすく伝えることを活動の一つとしています。

そして、ふるさと山陰の美しい森林や自然を次の世代に引き継ぐ取り組みを広げています。

「未来・いま・伝える」。

これからも、大切なことを伝え、大切なものを守っていきます。

森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議

山陰の森林・自然を守るNPO法人やボランティア団体が結集しています。

【鳥取県(21団体)】・(松江市)NPO法人 里山バイオマスネットワーク ・(松江市)NPO法人 もりふれ倶楽部 ・(松江市)NPO法人 八雲総合サービス協会 ・(松江市)里山を育てる会 ・(松江市)鳥根・木育ネットワーク ・(松江市)薪ストーブ同好会 ・(松江市)松江ネイチャーゲームの会 ・(雲南市)幡屋地区振興会 ・(斐川町)NPO法人 プレーパークてんとう虫 ・(出雲市)出雲市林業振興協議会 ・(出雲市)出雲高等学校インターアクトクラブ ・(出雲市)しまねフォレスト・ネットワーク出雲 ・(出雲市)森の仲間 ・(大田市)大田の自然を守る会 ・(大田市)認定NPO法人 緑と水の連絡会議 ・(江津市)江の川を考える会 ・(川本町)理想の山里づくり実行委員会 ・(浜田市)財団法人 鳥取県西部山村振興財団 ・(益田市)NPO法人 アンダンテ21

【鳥取県(23団体)】・(鳥取市)NPO法人 賀露おやじの会 ・(鳥取市)NPO法人 とっとり希望化計画21 ・(鳥取市)広葉樹文化協会 ・(鳥取市)山王さん周辺活性化協議会 ・(鳥取市)鳥取市女性の森グループ ・(鳥取市)森っ子倶楽部 ・(鳥取市)リサイクルの仲間 ・(智頭町)おんな山師集団 ・(智頭町)杉の聖・吟醸の会 ・(倉吉市)NPO法人 サカズキネット ・(倉吉市)藤原愛林協会 ・(倉吉市)NPO法人 養生の郷 ・(三朝町)NPO法人 里山地域研究会 ・(三朝町)三朝温泉かじか蛙保存研究会 ・(湯梨浜町)鳥取中部かせみネイチャーゲームの会 ・(米子市)大山横手道上ブナを育成する会 ・(米子市)一般社団法人 鳥取県木造住宅推進協議会西部支部 ・(米子市)トリネット ・(米子市)まき割り倶楽部 ・(大山町)日本熊鷹協会鳥取県支部 ・(伯耆町)丸山生産森林組合 ・(南都町)財団法人 南都町地域振興会 ・(日野町)日野川の清流と流域を守る会

みんなを 守ろう!